

# 京林大だより

No.76



絵：卒業生 熊走君

## 就業に向けたキャップストーン研修を実施



伐倒や機械操作など様々な実務研修を受ける林大生

学校では学べない現場の知識が得られた。

### 研修後の学生の声

積極的な姿勢で臨むことが大切だと思った。

複数の視点を持ち合わせて、全体を考えられる人になりたいと思った。

様々な人と知り合えて、情報を得られた。

卒業後の自分の仕事や働き方について考えるよい機会になった。

京林大のキャップストーン研修は、学校の実習だけでは習得が難しい実践的な能力の養成と、実社会への適応力の向上のために行います。2年生が府内外の事業体（1人2事業体）にお世話になり、各1ヶ月間（計2ヶ月間）の実習を受けます。

本年は、府内外の16事業体（森林組合、民間林業事業体、林産事業体など）にお世話になり、各事業体の方々の御指導のもと、様々な実務作業や社会人としての規範等を学ぶことができました。

学生たちは、様々なことを体験する中で、自ら課題を見だし、課題の解決に向けて決意を新たにしました。

また、研修で得られたことを報告会で発表し、1年生は次年度に向けた意識の醸成に、2年生は就職先の検討に役立てました。

研修生を受け入れていただきました事業体の皆様におかれましては、大変お世話になり誠にありがとうございました。



報告会の様子



# “林大祭”今年も開催します！

日頃お世話になっている地域の皆様への感謝の気持ちを込めて、「第9回林大祭」を開催いたします。

例年大盛況のクリスマスリース作りやロープアスレチックをはじめ、人気の丸太イス（販売）や体験・遊びも充実させようと準備を進めています。

今年は、林大卒業生が同窓会として初出店してくれます。

近隣からの飲食ブース出店やキッチンカーも来てくれますよ。

ご来場お待ちしております。

- ・日時：12月1日（日）10時～16時
- ・場所：京都府立林業大学校
- ・内容：模擬店、木工品販売、体験コーナーほか

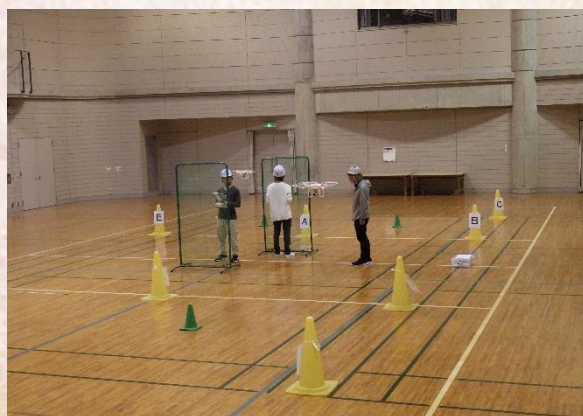


## 「森林計測実習2」（1年生）

本年度の新カリキュラムとして、「森林計測実習2」を実施しました。

「森林計測実習2」では、二等無人航空機操縦士の資格取得に向けた講義と実習を受けました。主にドローン操作について集中的に学ぶもので、本資格は、今後、ドローンを使う上で必要最小限の法律や安全に操縦する技能を習得することを目指しています。

講義では理解することに苦労していた学生もいましたが、実習では多くの学生が適切な操縦を身につけていました。



ドローン操作に励む学生

## 校長室より

校長 大下 起代

2年生は、8月末から2カ月間のキャップストーン(CS)研修を無事に終えることができました。各研修先でご指導いただきました事業体や森林組合の皆様方には、研修期間中、ひとかたならぬお世話になりました。現場で必要な技術、段取り、チームワーク、また、経営に必要なコミュニケーションの取り方等を親身になって丁寧に教えていただき、また、励まし、時には厳しく注意していただきながら就業を見据えた指導をしていただき、心より感謝いたします。CS研修の経験と成果は、この先の様々な場面で生かされていく学生にとっての宝物だと思います。

9月以降、学生確保の一環として林業大学校を広くPRするため、京丹波町の他、京都市、大阪市、綾部市、福知山市で開催された様々なイベントに出展しました。「阿上三所神社秋の大祭」をはじめ、「森林の魅力を体感（於：府立植物園）」でのチェンソーによる丸太椅子製作実演、「置きベン町民講座（於：京丹波町健康管理センター）」でのベンチづくり補助、「わくわくサイエンス（於：京丹波町役場）」での竹の輪ゴム鉄砲とタラヨウの葉によるハガキ作り、「木フェス（於：福知山市三段池公園）」での高性能林業機械シミュレータ等体験、「森のぶるぶ（於：須知高校）」での伐倒デモでは、学生もスタッフの一員として活躍し、地域の方々との交流を深めながら林業大学校での学びや林業大学校の魅力に参加者へしっかりと伝えました。学生は、イベント参加の子どもたちへの説明を上手に行い、子どもたちも学生とすぐに打ち解けていました。子どもたちが、この経験を通じて少しでも林業の大切さを知り興味を持ってくれることを期待しています。

12月1日（日）の林大祭に向け、学生たちは、放課後に丸太椅子等木工品や体験コーナーの木製ゲームなどを黙々と手作りで準備しています。模擬店もごさいますので是非ともお越しください。